

2017 年3 月

メ キ ャ ベ ツ

Brussels sprout

(*Brassica oleracea* L. var. *gemmifera* DC.)

めキャベツ審査基準

・審査基準の対象(Subject of these Guidelines)

この審査基準は、アブラナ科 (*Brassicaceae*) ブラシカ属 (*Brassica* L.) の、めキャベツ種 (*B. oleracea* L. var. *gemmifera* (DC.) Zenker) 及びその交雑種の全ての品種に適用する。

・提出種苗(Material Required)

- ）種苗の形態 種子又は発根苗
- ）提出時期 審査当局が指定する時期
- ）数量 種子繁殖性品種の場合 1,000 粒
栄養繁殖性品種の場合 60 個体

提出する種子は、発芽率、純潔率、含水量等保存に適したものであること。

- ）提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。
- ）提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

・試験の実施(Conduct of Tests)

- ）栽培条件 特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。
- ）最低供試個体数 40 個体（2 区以上の反復を設ける）
- ）栽培期間 2 生育周期であるが、区別性及び均一性の結果が決定的な場合は 2 回目を省略することができる。

）調査方法

調査個体数 特に指示がない限り、植物体 20 個体又は各個体から採取した部分 20 個とする。

均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期等 特性表の調査方法欄にある(a)、(b)の記号を含む形質については、以下のとおり調査する。

- (a) 収穫初期
- (b) 収穫中期

- ）特別な試験 特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が申告し、方法等が十分に提示され、審査当局が合意した場合は特別な栽培試験を実施することがある。

・判定基準 (Standards for Decisions)

判定は、登録出願品種審査要領の区別性、均一性及び安定性 (DUS) 審査のための一般基準に基づくものとする。

均一性の判定は、近交系品種、単交雑品種及び栄養繁殖性品種の場合、供試個体数が 40 の場合、許容される異型個体数は 2 である。他家受粉品種及び単交雑を除く交雑品種の場合は、同一種類に属する既存品種の変異の幅との相対比較により行う。

・グループ分けに使用する形質(Grouping of Varieties)

- ）草丈（形質 3）
- ）葉身の色（形質 10）
- ）葉身の色濃淡（形質 11）
- ）葉身の湾曲（形質 13）
- ）収獲期（形質 23）
- ）雄性不稔性（形質 25）

・ 特性表で使用する記号の説明(Legend)

G：グループ分けに使用する形質

(*)：必須形質

QL：質的形質

QN：量的形質

PQ：擬似の質的形質

(+)： ．に特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

網掛け：種苗法施行規則第 5 条で定める願書（別紙様式第 1 号）に出願者が記載する
特性及び階級値

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、すべての状態が特性表に記載してある。しかし、5 階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9 階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の 9 階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

. 特性表(Table of Characteristic)

形質 番号	U P O V	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1		PQ	子葉の色	Cotylendons: color	子葉の表面の色	観察 VG	1 2 3 4	淡緑 緑 濃緑 紫	light green green dark green purple		
2		PQ	胚軸の色	Hypocotyl: color	本葉 2 ~ 3 葉期の胚軸 の色 (着色部、濃色部)	観察 VG	1 2 3 4	淡緑 緑 濃緑 紫	light green green dark green purple		
3	1	QN (*) (+) G	草丈	Plant: height	植物体の地際から立毛 最高部までの高さ	測定 cm VG/ MG (b)	3 5 7	低 中 高	short medium tall	早生子持 グリーンホピ ン	
4		QN	着葉数	Plant: number of leaves	1 株当たりの展開葉数	測定 枚 MS (a)	3 5 7	少 中 多	few medium many		
5		QN	茎の長さ	Stem: length	地際部から茎生長点部 分までの長さ	測定 cm MS (b)	3 5 7	短 中 長	short medium long		

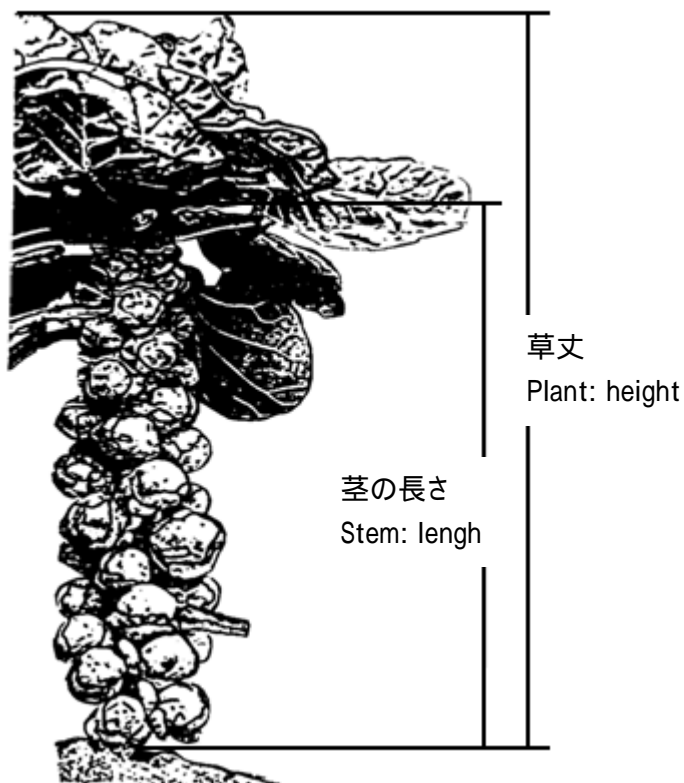
形質番号	UPOV	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
6		QN	茎の太さ	Stem: diameter	最大茎部の直径	測定 mm MS (b)	3 5 7	細 中 太	small medium large		
7	2	QN	結球性	Plant: tendency to form a head	芽球の形成のしやすさ、 中位の腋芽葉の結球性 の強弱	観察 VG (b)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	早生子持	
8	3	QN (*) (+)	葉身の大きさ	Leaf blade: size	最大葉の葉身の大きさ (葉身の長さ×葉身の 幅)	測定 cm MS (a)	3 5 7	小 中 大	small medium large	早生子持 改良ファミリー グリーンホピ ン	
9	4	QN (+)	葉身の長さ	Leaf blade: length	最大葉の葉身の長さ	測定 cm MS (a)	3 5 7	短 中 長	short medium long	早生子持 改良ファミリー グリーンホピ ン	
10	5	PQ (*) G	葉身の色	Leaf blade: color	最大葉の葉身の色	観察 VG (a)	1 2 3	緑 青緑 紫	green blue green purple	グリーンホピ ン	
11	6	QN (*) G	葉身の色濃淡	Leaf blade: intensity of color	最大葉の葉身の色濃 淡	観察 VG (a)	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark	グリーンホピ ン 早生子持	

形質番号	UPOV	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
12	7	QN	葉身のろう質の 多少	Leaf blade: waxiness	最大葉の葉身のろう質 の多少	観察 VG (a)	3 5 7	少 中 多	weak medium strong	早生子持	
13	8	QN (*) (+) G	葉身の湾曲	Leaf blade: cupping	最大葉の葉身の湾曲の 程度	観察 VG (a)	3 5 7	凸 平 凹	moderately convex plane moderately concave	グリーンホピ ン 改良ファミリー	
14	9	QN	葉身の凹凸の強 弱	Leaf blade: blistering	葉身の表面の凹凸の強 弱	観察 VG (a)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	グリーンホピ ン 改良ファミリー	
15	11	QN (*)	葉柄の向き	Petiole: attitude	葉柄の茎に対する向き	観察 VG (a)	3 5 7	半直立 水平 半下垂	semi erect horizontal semi pendulous	早生子持	
16	12	QN (+)	葉身の長さに対 する葉柄の長さ	Petiole: length compared to blade	葉身の長さに対する葉 柄の長さの比(葉柄の長 さ / 葉身の長さ)	測定 MS (a)	3 5 7	短い 同等 長い	moderately shorter equal moderately longer	早生子持 グリーンホピ ン	
17	13	QN	葉柄のアントシ アニン着色の強 弱	Petiole: anthocyanin coloration	葉柄のアントシアニン 着色の強弱	観察 VG (a)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	改良ファミリー	
18	14	PQ (+)	芽球の縦断面の 形	Sprout: shape in longitudinal section	芽球の縦断面の形	観察 VG (b)	1 2 3 4	狭倒卵形 倒卵形 広倒卵形 円形	narrow obovate obovate broad obovate circular	早生子持	

形質番号	UPOV	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
19	15	PQ	芽球の色	Sprout: color	芽球の表面の色	観察 VG (b)	1 2 3	緑 青緑 紫	green blue green purple	早生子持	
20	16	QN	芽球の色の濃淡	Sprout: intensity of color	芽球の表面の色の濃淡	観察 VG (b)	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark	早生子持	
21	17	QN	芽球のしまり	Sprout: density at harvest maturity	収穫期における芽球着 生のしまりの粗密	観察 VG (b)	3 5 7	粗 中 密	loose medium dense	早生子持	
22	18	QN	芽球の着生間隔	Stem: spacing of sprouts	主茎中間部に着生して いる芽球間の距離	観察 VG (b)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium wide	早生子持	
23	19	QN (*) G	収穫の早晩	Time of harvest maturity	収穫に達する時期の早 晩	測定 月日 MS	3 5 7	早 中 晩	early medium late		
24	20	QN (+)	芽球列の形	Stem: profile of sprout column	茎に着生した芽球列全 体の形状	観察 VG	1 2 3	円錐形 円錐形から円筒 形 円筒形	conical conical to cylindrical cylindrical		
25	21	QL (+) G	雄性不稔性	Male sterility	雄性不稔性の有無	観察 VS	1 9	無 有	absent present		

・特性表の説明(Explanations on the Table of Characteristics)

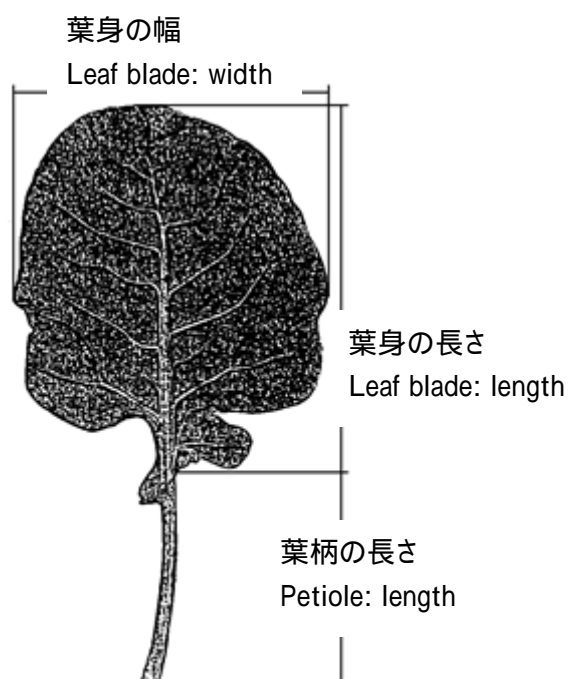
形質 3 草丈 Char.3 Plant: height



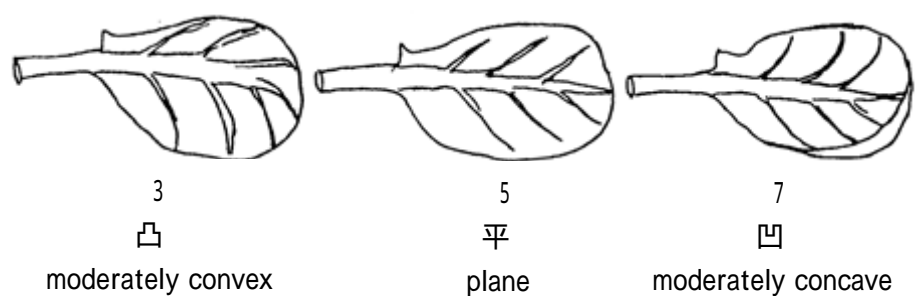
形質 8 葉身の大きさ Char.8 Leaf blade: size

形質 9 葉身の長さ Char.9 Leaf blade: length

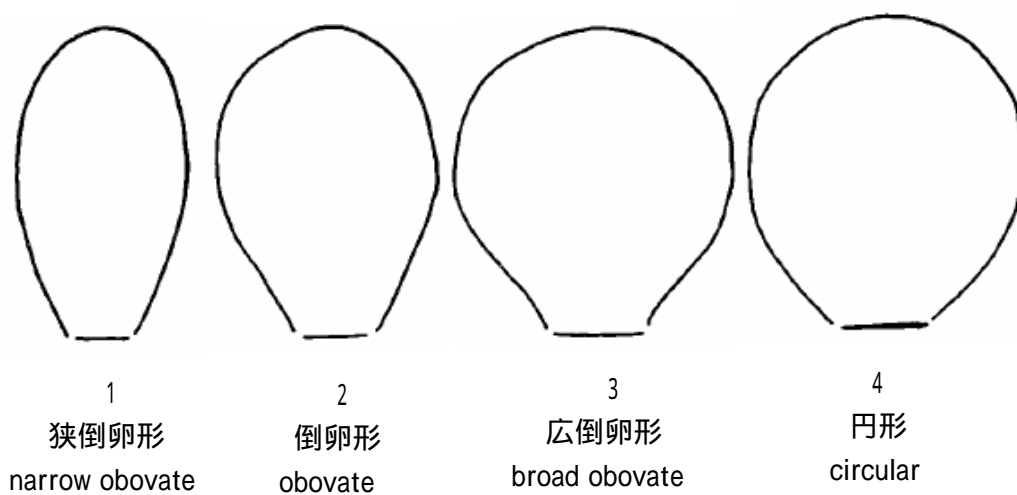
形質 16 葉身の長さに比較した葉柄の長さ Char.16 Petiole: length compared to blade



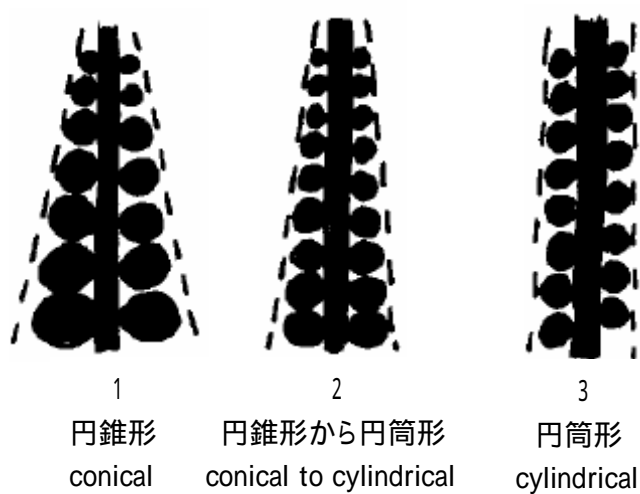
形質 13 葉身の湾曲 Char.13 Leaf blade: cupping



形質 18 芽球の縦断面の形 Char.18 Sprout: shape in longitudinal section



形質 24 芽球列の形 Char.24 Stem: profile of sprout column



形質 25 雄性不稔性 Char.25 Male sterility

雄性不稔性品種は、雄ずいの発達が不完全である。すなわち花糸はあるが、やくが存在しない。

Male sterile varieties have flowers with partially developed stamens; the filament is present but not the anther (pollen sack).